

■【第1部】町田市の公共施設再編と図書館の集約について <ご意見のまとめ>

町田市の公共施設の再編の考え方や町田駅周辺の図書館の集約について説明するとともに、さるびあ図書館と中央図書館の現状や本の貸出冊数、来館者数の推移、集約に向けた考えなどを説明しました。説明の後は、参加者がグループに分かれ、「感想・意見等」を共有し、最後に各グループから発表して頂き、参加者全員でも共有しました。

	グループ	質疑		感想・意見
		質問	回答	
第1部	Aグループ	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化と財政状況の悪化が公共施設の再編をすすめる理由になるのは納得できる。 ・大学生の子どもが授業でさるびあを使う。 ・一人でも使う人がいれば必要だと思う。 ・近くにあるのは便利だ。 ・さるびあ図書館の老朽化により、続けることは「むりなのか？」と思う。 ・地域に意見を求められても、決まっているように思える。 ・意見交換があってももう集約は決まっている。そのためのデータを見させられている。 ・高齢者は本を借りなくても、図書館で読むことはできる。 ・学校も減らすので、やむを得ないか。 ・人口減少については、中町は人口が増えている。 ・来館者が減っても必要な人がいる限りあったほうがいい。 ・納得できない、存続すべきだ。 ・少子化、老朽化だけで決めようとしている。 ・図書館は文化の象徴だ。 ・いろいろ情報ツールがあって情報を取り入れることはできる。 ・紙をみてその場で情報をとることができる場は大切。 ・さるびあと中央は隣接とは言えない。つぶすなら中央だ。 ・図書館は基本的に足りない。フィンランドのヘルシンキは人口40万人で20館の図書館がある。 ・「選ばれる町田」になるべきだ。 ・まだ具体的な集約が決まったわけではないので、地域として「さるびあ図書館を残してほしい」と伝えていきたい。
	Bグループ	・さるびあに集約するのか、中央に集約するのか？	・さるびあ図書館と中央図書館について、重複する機能は整理、類似機能をまとめて配置するため、どちらかにまとめるということではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なことですが、町田市にある図書館の数が8館しかないことにまず驚いた。 ・集約するだけでなく、より良い公共サービスが受けられるといいのにな、と思います。 ・市だけでなく、NPOなどもサービス提供しているので、足りているのかなとも思うが、たくさんの人が喜べるものがあると良い。 ・子どもだけで行ける距離に図書館がなくなってしまうと、本に接する機会が減って困る。 ・夏休みの宿題で本を借りることもある中、行きにくいと感じました。 ・お薦めの本を20冊という宿題があった。 ・子どもが本に関わる機会が減ってしまう。 ・乳幼児が集まれる場所がありますが、そうではない人たちが転入してきたときに、新たに人とつながれる場所があるといいと思います。 ・高齢者の図書館利用については、どのように考えているのか気になるところです。 ・老朽化しているのであれば、補強して使えばよい。 ・中央図書館は広いし置いてあるものも多いが、子どもにとっては探しにくく、初めて一人で行くにはハードルが高い。 ・防災、治安、医療、教育、国防等はコストと効果のバランスは余裕を以て考えるべきである。 ・お金がかかるからやめよう、という考えはやめた方がいい。 ・先行投資、公共施設の再編コストの問題。 ・中央図書館と近接していると言っても、利用者によってはもっとかかる人が多いのではないか。 ・民間資本を利用して複合施設を作り、その中にさるびあ図書館を入れてはどうか。
	Bグループ	・中央図書館と集約された場合、移動図書館は継続できるか？	・移動図書館の運行、学校図書館や団体の支援など、特徴的な機能を維持・向上する方策を検討することとしています。	
	Bグループ	・移動図書館は続けてほしいが、移動図書館はさるびあの一部？	・移動図書館はさるびあ図書館と堺図書館の2館で運行しております。移動図書館の運行、学校図書館や団体の支援など、特徴的な機能を維持・向上する方策を検討することとしています。	
	Bグループ	・町田一小では学年行事でさるびあ図書館に本を借りに行く機会？体験がありました。距離がある中央図書館だけになってしまうとそういった機会もなくなってしまうのか？	・2026年度に市として集約方法を決定する予定としていますが、さるびあ図書館と中央図書館の重複する機能を整理し、類似機能をまとめて配置するため、地域の皆様と意見交換をしながら、検討してまいります。	
	Bグループ	・中央図書館に集約される場合、自転車で行かないと不便な距離なので、駐輪場、駐車場の設備は広げられるのか？	・2026年度に市として集約方法を決定する予定としていますが。地域の皆さまと将来のこの地域に必要な「公共の機能・サービス」について、意見交換したいと考えています。	
	Bグループ	・老朽化のためだと壊すしかないのか、さるびあをリノベーションして続けていけると良いのでは？	・2026年度に市として集約方法を決定する予定としていますが。地域の皆さまと将来のこの地域に必要な「公共の機能・サービス」について、意見交換したいと考えています。	

■【第1部】町田市の公共施設再編と図書館の集約について <ご意見のまとめ>

町田市の公共施設の再編の考え方や町田駅周辺の図書館の集約について説明するとともに、さるびあ図書館と中央図書館の現状や本の貸出冊数、来館者数の推移、集約に向けた考えなどを説明しました。

説明の後は、参加者がグループに分かれ、「感想・意見等」を共有し、最後に各グループから発表して頂き、参加者全員でも共有しました。

	グループ	質疑		感想・意見	
		質問	回答		
第1部	Cグループ	・市の財政について、どのような考えがあるのか？	・スライドでも説明しましたが、『町田市公共施設等総合管理計画（一部改定）』によると、町田市の歳出総額は概ね増加傾向にあり、特に義務的経費のうち、扶助費が増加しています。また、人口減少や高齢化が進むことで社会保障費の増大及び税收減少が予想される状況です。	<ul style="list-style-type: none"> 資料で説明するのは、効率と建物の老朽化、ランニングコストのみに焦点があてられている。 集約ありきの資料だと思った。 はじめて資料を見た人は今の現状が良くわかった。 さるびあができた経緯が語られていない、不満だ。 地域の地理的な観点でなく、もっと総合的な視点に立って将来の町田市としての構想が見えて来ない。 （意見交換会当日スライド8から）社会状況の変化に伴い、各世代にとっての意義に対応する図書館づくりを考えていただきたい。 利用者、貸出冊数の減少については納得しました。 借りる冊数が減っているということだったが、減っちゃいけないのか。 集約方法の検討には時間がかかるとは思いますが、早期に進めることも大事なことです。 説明では、コスト関連が中心になっている説明である。 この2年間、検討する時間があったのではないのか。職員の人件費など、結果が決まっているのであればもったいない。 さるびあ図書館の築年数を初めて聞きました。 （意見交換会当日スライド12、13から）老朽化による建て替え？は致し方ないと思います。 自分が子どものころに、そして、自分の子どもも利用していたのでなくなるのは寂しいが、老朽化、お金をかけられないことを知ると、仕方ないことかなと思います。 利用者が減っても問題はないが、図書館とはどのような役割が必要か。 （意見交換会当日スライド16、19から）推移については、2019～コロナ発生に伴うことで減少するのは当たり前なので、比較するのはおかしい。 木曾山崎との距離感がおかしい。 2055年とか、あまりに先が長い。 子どもは線路を越えて中央図書館に行くのが怖い。 	
		・集約ありきの考え方の資料では？なくなる前提では？	・2026年度に市として集約方法を決定する予定としています。地域の皆さまと将来のこの地域に必要な「公共の機能・サービス」について、意見交換したいと考えています。		
		・2018年の請願「さるびあ図書館を存続して欲しい」採択されたのにどうして？	・地域の皆様が図書館を必要としていることを改めて認識するとともに、必要とされている図書館サービスを社会状況の変化に対応しながら将来にわたって提供し続けることの重要についても認識したところございます。請願をしっかり受け止め、図書館の集約を進める際には、皆様からのご意見を伺うため、今後も意見交換の場を今後も開きたいと考えております。		
	Dグループ	・さるびあ図書館の建物を壊した跡地利用は？	・2026年度に市として集約方法を決定する予定としています。地域の皆さまと将来のこの地域に必要な「公共の機能・サービス」について、意見交換したいと考えています。		<ul style="list-style-type: none"> さるびあと中央はわかるが、木曾山崎は近くない。 木曾山崎は近いとは思えない。 図書館が減ることは文化都市としてのイメージが下がるが、町田は大きい街なのでイメージが下がるのでは？ 老朽化に伴い建て直さなければならないことは理解できる。 移動図書館は残してほしいなと思います。 高齢の方々にとっては安らげる場所が近くにあるということはとても大切で、そこがなくなるということが心配。 数値の前に、あるべきor求める姿があると思う。 図書館に行けない人にとって重要。 子ども・高齢者がアクセスしやすい施設にすべきで、その点は考えているのかと思った。 館数が減るなら移動図書館の拠点を増やすなど、活用を考えてはどうか。 貸出冊数がすべてではないと思う。 地域に近くに小型店があるといい。 付せんに書いた意見は、「集約する」という前提に立って書かれている。 配布資料や説明はさもあらんという内容で「もう決まっているでしょ」という感触である。 町田市や市長は、財政難の中であつてもどのようにまちをつくっていきたいのか、 市民が夢を持てるまちになるのか、市のビジョンや熱いメッセージがあるといいなと思った。
		・「集約」とは、別の建物を使用するのか？中央ではなく、それとも別の建物？	・さるびあ図書館と中央図書館について、重複する機能は整理、類似機能をまとめて配置するため、どちらかにまとめるということではありません。		
		・移動図書館の活用をもっと柔軟に考えていってもいいのではないのか？	・2020年度から定期巡回場所だけではなく、保育園や幼稚園等の子どもが集まる場所やイベントへの出張運行を行っています。		
		・図書館への道のりの途中には、子どもや高齢者にとっては危ない踏切などあるため、図書館へのアクセスは確保されるのか？（コミュニティバス、送迎バスなど）	・図書館が所管している事業ではありませんが、関係部署にも情報を共有してまいります。		
		・幼少の利用者が減るのであれば、高齢者対策はどうか？	・図書館が所管している事業ではありませんが、関係部署にも情報を共有してまいります。		

■【第2部】地域の未来世代に手渡したい公共サービスの姿 <ご意見のまとめ>

「地域の未来世代に手渡したい公共サービスの姿」をテーマに2040年のこの地域を想像して、未来世代に残したい価値や機能、または、今はないけれども、あったら良いと思う新しい価値や機能といった視点から、図書館にとらわれず意見交換をしました。

	グループ	<図書館に関するサービス> 残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能	<図書館以外の公共サービス> 残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
第2部	Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな場所がすみれ教室や機関車などと複合的にあるといい。 ・図書館としての窓口は残し、ネット等で本の取り寄せができる。 ・本の入れ替えが必要なので、図書館にもっとお金をつける。 ・現在、町田市民一人あたり図書費80円。26市平均230円、80円→230円へ。 ・さるびあ図書館の機能を最大限に生かす！！ ・子ども図書館として再生させる！ ・移動図書館のセンター。 ・学校図書館のセンター。 ・高齢者にとって使いやすい図書館。 ・話し合いができるコミュニティ機能を持つ図書館。 ・夜にちょっとした打ち合わせをしたい時に使える場所がなかなかないので、図書館にそのような機能があるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっても使いやすいコミュニティセンターのようなもの。 ・Wi-Fi機能が備わっている。 ・年齢制限のない集まれる場所。 ・ダンスなどができる場所。 ・情報が大量に簡単に手に入るのではなく、自分でコツコツ調べることができる。 ・孤立してしまう高齢者、子育ての親などが必要とする居場所づくりが必要だと思います。
	Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・本やタブレットなどその時代に合ったスペース。 ・カフェなどを持った図書館があれば、朝から晩まで図書館で過ごす方がもっと増えるのでは。 ・紙の本に触れることのできる図書館は残っていて欲しい。 ・今まで通りのものはそのままある方がいい。 ・大型活字本のような高齢者が読みやすい本を揃える。 ・慣れ親しんだものがあればよいと思う。 ・ハリーポッターのように新聞の写真が動けば、事件の内容がよくわかるかも。 ・読み聞かせの場。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑はたくさん残してほしい、安全に遊べる公園など。 ・カフェを作って欲しい。 ・図書館があつたりいろいろなことができる施設。 ・いま中町ある保健所、さるびあと子ども発達センターの3つの施設を統合して複合施設にする。 ・高齢者施設、子どもの施設、イベント広場、公園などの複合施設があるといいのではないか。

■【第2部】地域の未来世代に手渡したい公共サービスの姿 <ご意見のまとめ>

「地域の未来世代に手渡したい公共サービスの姿」をテーマに2040年のこの地域を想像して、未来世代に残したい価値や機能、または、今はないけれども、あったら良いと思う新しい価値や機能といった視点から、図書館にとらわれず意見交換をしました。

	グループ	<図書館に関するサービス> 残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能	<図書館以外の公共サービス> 残したい価値・機能、あったらいい新しい価値・機能
第2部	Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを大切にする場所づくり。 ・おじいちゃま、おばあちゃま、お孫ちゃま一緒に集える優しい空間に図書館が必要だと思います。 ・子ども食堂が図書館があれば、そこで子どもも本に触れられる機会が増えそう。 ・大和市の「シリウス」のようなホールやカフェの機能を合わせ持つ図書館を作って欲しいなあ。 ・メディアを活用した情報の収集と交流の連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティも大切なはずなので、テレワーク等、個人も利用でき、みんなが触れ合える輪がもてる場所にして欲しい。 ・高齢者と子どもの交流の場としての子ども食堂。 ・映画館。 ・図書館、幼稚園、イベント広場を含む複合施設。 ・発達障がいや不登校の子どもたち、その保護者たちが集まれり交流できるような機能がある空間。 ・予約が取りづらいので、子どもの発達に悩んでいる親がすぐに診察してもらえるクリニックを身近な公共施設内に一つあってもいい。
	Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・専門書など紙の活字に触れる場所は残したい。 ・仕掛け絵本など紙の良さに触れられる場所は残してほしい。 ・グーグルやフェイスブックなどとは違う、偏らない情報提供の場。 ・新しい形の図書館司書。 ・人件費に割く必要がある。 ・研究資料、高価な本や美術、古書など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代風な大きい施設や昔ながらの小さな施設。 ・木曾山崎センターのような行政機能や図書館、ホールなど小さい複合施設を中町にも。 ・自分が遠くまで出歩けなくなったときに、市の情報を得られる場所や相談のできる場所が近くにあって欲しい。 ・仮想現実で自分の興味以外を知る場。 ・行政として規制をなくす。 ・コンビニなどで手続きがOKになるなど、民間を活用する。